

鹿児島県奄美大島の平成22年10月18日からの豪雨に伴う緊急派遣調査結果

平成22年10月18日からの豪雨により、鹿児島県奄美大島で農作物、農地、農業用施設に被害が発生していることを受けて、農林水産省と九州農政局では、10月26日に調査員6名を現地に派遣し、鹿児島県農政部と合同で被災状況の情報収集と調査を行い、危険箇所への立ち入り禁止措置や復旧工法に関する助言等を行いました。



樹園地への基幹農道で被災

左: 約25mにわたって道路が崩壊し、ガードレールが宙ぶりの状態となっている。(奄美市名瀬中勝)

右: 山側からの崩壊土砂とともに道路も陥没、崩壊している。(奄美市名瀬小湊)

被災状況現地調査位置
鹿児島県奄美市名瀬、住用町



農道被災現場で現況の構造や被災要因等を
確認し緊急措置等の助言を実施。



山側から流出した土石が農道の路面を覆って
いる。(奄美市名瀬小湊: 至る所で同様の状況
が発生)



大小の石が樹園地(タンカン園)へ流入し50
cm以上堆積している。(奄美市住用町)